

医療情報学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Muro T, Ando F, Suehiro M, Nakagawa H, Okuda C, Matsumoto T, Izumikawa K, Honda M, Sasaki H: Utility of Blood Culture in Patients with Community-Acquired Pneumonia: A Propensity Score-Matched Analysis Based on a Japanese National Health Insurance Database. *Biological and Pharmaceutical Bulletin* 46(2): 237-244, 2023. doi: 10.1248/bpb.b22-00609.
2. Kinoshita T, Espino F, Bunagan R, Lim D, Daga C, Parungao S, Balderian A, Micu K, Laborera R, Basilio R, Inobaya M, Baquilod M, Dy M, Chiba H, Matsumoto T, Nakayama T, Kita K, Hirayama K.: First malaria in pregnancy followed in Philippine real-world setting: proof-of-concept of probabilistic record linkage between disease surveillance and hospital administrative data. *Tropical medicine and health* 52(1): 17, 2023. doi: 10.1186/s41182-024-00583-7.

B 邦文

B-a

1. 松本武浩, 木下琢也, 阪本純也, 臼井哲也, 岩元泉, 藤沢章令, 辻 明美, 高石恭子, 山下利佳, 野上朋幸, 伊藤眞由美, 室田浩之: 松本武浩, 木下琢也, 阪本純一, 井上公介, 辻 藍, 岩崎 恵, 辻 明美, 堀田 ほづみ, 出口 砂緒利, 伊藤眞由美. *日本医療マネジメント学会雑誌* (23): 1881-2503, 2023.
2. 松本武浩, 木下琢也, 阪本純一, 井上公介, 辻 藍, 岩崎 恵, 辻 明美, 堀 ほづみ, 出 砂緒利, 伊藤眞由美: 病院経営とクリニカルパス(診療報酬対策) クリニカルパスの経営改善効果 原価計算を利用した詳細分析. *日本クリニカルパス学会誌* 25(2): 65-69, 2023.

B-c

1. 松本武浩: 医師の働き方改革と地域医療構想. *㈱ライフ・サイエンス*: 27-32, 2023.
2. 松本武浩: 医療ICTと医師事務作業補助者支援による未読「ゼロ」への取り組み. *㈱エム・イー振興協会 月刊新医療編集部* 50(4): 82-83, 2023.
3. 大伴哲治, 松本武浩, 辻 明美, 伊藤眞由美: インクジェットプリンター採用による業務改善効果 ～コストを見据えて生産性向上に寄与する～. *医事業務* 30(647): 22-23, 2023.

B-e-2

1. 阪本純一, 木下琢也, 松屋合敏, 田浦直太, 野間太一朗, 松本武浩: 日本クリニカルパス学会誌(2187-6592)25巻2号 Page65-69. *日本医療情報学会春季学術大会プログラム・抄録集* 27回: 161-162, 2023.
2. 橋本淳子, 田浦直太, 宮明寿光, 三馬聡, 松本武浩, 中尾一彦: 当院におけるフィブリノーゲン製剤等の投与に関する診療録調査の現状についての報告. *肝臓* 64(Suppl.3): A815, 2023.
3. 臼井哲也, 加勢田富士子, 木村由美子, 長谷川寛雄, 松本武浩, 柳原克紀: 地域医療連携ネットワークにおける臨床検査データの精度管理に向けた取り組み. *医療検査と自動化* 48(4): 399, 2023.
4. 山下利佳, 臼井哲也, 阿比留教生, 鎌田昭江, 森田衣美, 峯 佑理子, 野上朋幸, 鶴飼 孝, 松本武浩: ICTを利用した糖尿病医科歯科連携パスの構築. *医療情報学連合大会論文集* 43: 1132-1143, 2023.
5. 松本武浩, 木下琢也, 阪本純也, 臼井哲也, 大伴哲治, 一橋了介, 辻 明美, 高石恭子, 山下利佳, 野上朋幸, 伊藤眞由美: 測定結果自動取得バイタルデバイス貸与利用の臨床効果評価. *医療情報学連合大会論文集* 43: 1037-1039, 2023.
6. 伊藤眞由美, 牛嶋拓也, 一橋了介, 橋本淳子, 秋山久美子, 永井千佳子, 小森朋子, 高石恭子, 辻 明美, 野上朋幸, 山下利佳, 松本武浩: 重複記録減少に向けた「診療計画・経過サマリ」導入と運用評価 医師の働き方改革下での医療の質・安全への貢献. *医療情報学連合大会論文集* 43: 1034-1036, 2023.
7. 松本武浩, 木下琢也, 阪本純也, 臼井哲也, 岩元 泉, 藤沢章令, 辻 明美, 高石恭子, 山下利佳, 野上朋幸, 伊藤眞由美, 室田浩之: 長崎県の地連を利用した皮膚科難病レジストリ構築. *医療情報学連合大会論文集* 43: 657-660, 2023.

8. 辻 明美, 高石恭子, 松尾理香子, 西口真由美, 伊藤眞由美, 松本武浩 : 電子カルテの看護記録タイトルの現状調査. 医療情報学連合大会論文集 43: 501-503, 2023.
9. 松本武浩 : 医療DX時代の地連の位置づけと展望～サービス事業者・ネットワーク事業者視点からみた地連～地域連携ネットワークにおけるDXとは サービス構築・「あじさいネット」利用者の視点から. 医療情報学連合大会論文集 43: 302-304, 2023.
10. 橋詰淳哉, 松本武浩, 伊藤眞由美, 江副智美, 栗原慎太郎, 大山 要 : 電子カルテにおける剤型、規格、量等が異なる薬剤に対する適切な警告対応の取組み. 医療情報学連合大会論文集 43: 241-244, 2023.
11. 堀田ほづみ, 辻 明美, 高石恭子, 松本武浩 : BOMを活用したパス分析 アウトカム未達成率差の原因. 日本クリニカルパス学会誌 25(3): 304, 2023.
12. 黒部昌也, 松本武浩, 前村浩二 : パスは続くよ、どこまでも-院内多職種連携から院外多職種連携への展開- ネットワーク型地域連携パスによる急性心筋梗塞の二次予防の実現. 日本クリニカルパス学会誌 25(3): 177, 2023.
13. 草野優香, 田下真祐子, 高村愛子, 山口真美, 松本武浩 : 入院説明の評価と課題抽出のための調査 入院までの不安解消に関して. 日本医療マネジメント学会雑誌 24: 263, 2023.
14. 阪本純一, 松下舞子, 野間太一朗, 山口耕一, 木下琢也, 松本武浩 : 透析機能を有しない当院における急性血液浄化導入時の問題点と患者予後の検討. 日本臨床工学技士会誌 78: 313, 2023.

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	0	7	1	17

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
松本武浩・准教授	評議員	日本医療情報学会
松本武浩・准教授	評議員	日本医療マネジメント学会
松本武浩・准教授	委員・情報共有WG長	長崎市地域包括ケア推進協議会
松本武浩・准教授	委員	長崎県医師会情報システム研究委員会
松本武浩・准教授	幹事	日本医療連携研究会
松本武浩・准教授	幹事	全国ID-Link研究会
松本武浩・准教授	幹事	国立大学病院医療連携・退院支援関連部門連絡協議会
松本武浩・准教授	医療情報委員会委員	日本クリニカルパス学会
松本武浩・准教授	長崎市医師会情報処理委員会委員	長崎市医師会
松本武浩・准教授	委員	長崎県医療 ICT 等検討会
松本武浩・准教授	都道府県がん診療連携拠点病院 がん登録部の部会委員	国立研究開発法人 国立がん研究センター
松本武浩・准教授	委員	令和5年度厚生労働省 在宅医療・救急医療連携にかかる調査・セミナー事業の検討会
松本武浩・准教授	評議員	日本クリニカルパス学会
松本武浩・准教授	庶務部IT委員会委員	日本臨床内科学会
松本武浩・准教授	登録部門長	長崎県がん診療連携協議会
松本武浩・准教授	医療分野におけるIT化検討委員会委員	長崎県福祉保健部
松本武浩・准教授	救急医療情報システム検討委員会委員	長崎県福祉保健部
松本武浩・准教授	長崎県あじさいネット拡充プロジェクト室室長	長崎県福祉保健部
松本武浩・准教授	情報システム検討委員会委員	長崎県医師会
松本武浩・准教授	長崎県情報化検討委員会委員	長崎県医師会

松本武浩・准教授	理事・運営委員会委員	NPO法人長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会（あじさいネット）
松本武浩・准教授	会長	長崎クリティカルパス協議会

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
松本武浩・准教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「地域医療情報システムを用いた脳卒中・心疾患共通レジストリ構築と予後予測因子の探索」
松本武浩・准教授	厚生労働省	分担	厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業「発刊異常を伴う稀少難治療性疾患の治療指針作成、疫学調査の研究」
松本武浩・准教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究C（一般）「クリニカルパスの診療の質・安全及び病院経営にたいする効果と適切な運用に関する研究」
松本武浩・准教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「退院患者におけるオンライン診療外来の医療の質及び医療経済効果の評価に関する研究」
松本武浩・准教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「ICT連携の検査データ共有による糖尿病コントロールと歯周治療の数値的関係の解明」
松本武浩・准教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「遠隔専門医療支援におけるサイバーコンサルテーションの有用性の検討」
松本武浩・准教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「遠隔医療支援システムが医療種の業務負担に与える影響についての検討」

特許

氏名・職	特許権名称	出願年月日	取得年月日	番号
松本武浩・准教授	疾患予後モデルの作成方法、このモデルを用いた疾患予後予測方法、このモデルによる予後予測装置、ならびにそのプログラム・記憶媒体	2004年11月4日	2008年7月16日	特願2005-505806
松本武浩・准教授	医療機関向けセーフティーマネジメントシステム	2008年7月16日	出願中	特願2008-209096

その他

非常勤講師

氏名・職	職（担当科目）	関係機関名
松本武浩・准教授	非常勤講師（健康科学）	島根大学医学部医学科・看護学科1年
松本武浩・准教授	非常勤講師（医療経済学）	岩手県立大学看護学部

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
松本武浩・准教授	地域医療を支えるために 長崎県「あじさいネット」がめざすものとは	NCC	2023年8月26日	地域医療の中でICTを利用した情報連携の重要性を述べた。

松本武浩・准教授	医療・介護最前線 あじさいネット（長崎県）	日経産業新聞	2023年8月17日	あじさいネットを利用した医療介護連携を紹介した。
松本武浩・准教授	これからどうする電話診療！～会員特別価格でオンライン診療～	オンライン診療病院事例WEBセミナー	2023年7月25日	オンライン診療の重要性を解説しあじさいネットの中で、安価に利用できるサービスを報告した。
松本武浩・准教授	「あじさいネット」による患者情報の共有と薬局薬剤師の関わり	パレット121号	2023年12月1日	あじさいネットを利用した薬局での役割を概説した。